

第261回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所 鎌手中学校 校長 寺戸 淳

参加者数 11名 教頭 和田 政幸

1、代表世話人挨拶 山崎純
こちら鎌手中学校も久し振りに参りましたが、今期で廃校と
いうことで、最後にきれいにできればいいなと思ってます
昨日同窓会でしたがやはり同級生はいいものですね
鎌手中の皆さんもこれから学校を変られていかれますが
いいご縁を広げて欲しいと思います。また掃除の会の
皆さんも更に縁を広げ深めてまいりたいと思います
2、体験感想発表
・松崎 純次さん(益田市・キヌヤ)
来年3月には廃校になると思えば感慨深い気持ちです
今日は愛情を以って磨かせて頂きました。きれいなトイレ
ですから、明日生徒さんが見られても気づかないかも
分かりませんが、気づいてもらいたいですね。
・岡田 俊夫さん(六日市町・ドメニカーナ)
今日は久し振りに女子トイレをしましたがとてもきれいで
やりがいのない掃除でしたが、手洗いが汚れていて
それをきれいにさせて頂きました
・中島 明洋さん(中西中3年生)
久し振りに大便器の担当でしたが、やり方を忘れていて
何とかやりましたが、床の汚れが落ちなくて残念でした
2月を除いて可能な限り参加をしたいと思います
・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)
トイレが全体にきれいで、校長先生はじめ生徒さんも
毎日綺麗にされてると思いました。生徒さんに気持ちよく
使って頂きたいと思います
・岡本 昇太さん(浜田市・キヌヤ)
小便器でしたが折り返しの所が汚れていた程度で綺麗でした

2、体験感想発表
・中部 尚樹さん(浜田市・キヌヤ)
男子トイレでしたが、入り口のトイレは担当の方が苦勞されてましたが
私は真ん中だったのできれいで比較的楽でした。あと洗面台が汚れて
いましたので、綺麗になって良かったと思います
・寺戸 淳さん(鎌手中学校校長)
今日は皆さんありがとうございました。本来なら子供達も参加して
一緒に掃除をすればよかったのですが、テスト期間中で参加する
ことが出来なくて申し訳ございません。私は多分今日で3回目の参加
になると思いますが、本校は一年は空いたでしょうが毎年やって頂いて
おります。学校の各所に「有終の美」というステッカーを貼っております
今日はその点では良かったと思ってます。皆さんがきれいだと言われて
おられました、生徒数も少ないので掃除はトイレを中心にやって
おりますし、教職員トイレも生徒に負けないように教職員で綺麗に
しております。今日は本当にありがとうございましたb。
・森 宣雄さん(キューサイファーム島根)
今朝は寒くて出ることを躊躇しましたが、やり始めると気持ちよく
できました。全体がきれいで、配管の錆が気になり綺麗にしました
明日は生徒さんがみて綺麗になったことをみて欲しいと思います
・田村 勝則さん(益田市・日の丸)
久し振りに参加しました。掃除をすることで気持ちが楽になります
長い間掃除をしませんので、このところ仕事で少し行き詰まりを
感じておまして、トイレ掃除をすることで気持ちが楽になります
この会に参加して掃除をすることにこだわらず、日頃掃除をさせて
頂くことが大事であると感じております
<連絡事項>
12月16日17時より「耕」にて忘年会を開催いたします(別紙)

4、鎌山秀三郎相談役 一日一話より抜粋
たった一人のために
自分のことばかりを考えている人は、いくら見かけが立派であっても、中身が空っぽの場合が
ほとんどです。反対に、常に相手のことを考えて行動する人は中身が充実しています。
大切なのは、外見ではなくその人の中に何が詰まっているかどうかということです。
特に、たった一人の人の為に尽くせる心を持っているかどうか。ここが、大きなポイントです。
徹底する
優しさも、見方を変えると弱さに見えることが有ります。
自分では礼儀正しいと思ってやっていることでも、見方を変えると堅苦しく感じられることが有ります。
原因は、いまひとつ徹底されず、身につけていないからです。
誰から見ても優しく、礼儀正しいという評価を受ける為には、徹底して特化することです。
5、森信三先生の教え 一語千鈞より
只管あいさつ
・すべて最低絶大基本線の確保が大事であって、何か一つ、これだけはどうしても守りぬき、やり抜く
という心掛けが肝要です。
・人間も、金についての親の苦勞が分かりかけて、初めて稚気を脱する。随ってそれまでは結局、
幼稚園の延長に過ぎぬともいえる。
・金の苦勞によって人間は鍛えられる。金の苦勞を知らない人は、その人柄がいかに良くて、どこか
喰い足りぬところがある。人の苦しみの察しがつかぬからである。
・玄米食は、我々日本人には「食」の原点である。それ故玄米食を始めると、かえって味覚が鋭敏になる。
6・平澤 興先生語録より
生きよう今日も喜んで
・人生において、道の体得ということは、頭で理解することとは違う。言葉の説明以上にこれを体で覚え、
日々の生活の中で、実行するところまでゆかねばならぬ。実行して体で覚えねばならない。そこまで
ゆかねばほんものにはならぬ。
・ある一事を通して、ものの深さを知ることが出来れば、その目、その頭で万時を考えるようになる。
そしてその真実に近づけるのである。